

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：2年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男子は、特にボール投げや立ち幅跳びなどのすばやく動き出す能力である瞬発力が優れている。
- 女子は、特に20mシャトルランの運動を持続する能力や、ボール投げなど運動を調整する能力である巧緻性が優れている。
- 男女とも、握力や上体起こしなど大きな力を出す能力である筋力や筋力を持続する能力である筋持久力に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 保健体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・動きのポイントを共有し、イメージと実際の動きの違いをグループで分析する活動。
- ・技能レベルに応じて課題解決学習を行うことができる場の設定。
- ・自己有用感を味わうことができるような役割分担と振り返り活動。

②改善を図る点

- ・筋力をあげるための運動を、体育の時間の準備運動を通して継続して行うこと。
- ・体力を高める運動の必要性を浸透させるために、体力の伸びを実感できる年間計画を設定する。体育理論と体づくり運動を結び付けた体験型学習を行うこと。
- ・授業内の活動時間の確保。

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・体力アップシートを活用し、運動計画を立て、活動の成果をフィードバックする。
- ・生徒会活動と連携して、運動できる場や時間を確保する。